

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月9日

【評価実施概要】

事業所番号	0177600319		
法人名	メディカル・ケア・サービス北海道 株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム 石狩花川		
所在地	北海道石狩市花川404-12 (電話) 0133-72-8870		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年11月5日	評価確定日	平成20年11月11日

【情報提供票より】(平成20年9月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年 9月 14日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算	12.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	64,000 円	その他の経費(月額)	21,000~28,000 円	
敷金	有() 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(9月10日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 86.7 歳	最低	74 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	花川病院 ラビット歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

札幌市と石狩市の境界に位置し、敷地は広く来訪者や職員の駐車場スペースも十分に確保されており、畑では野菜の収穫なども楽しめる交通の利便性に優れた場所に開設されている2ユニットのグループホームです。ホーム長は、職員の離職を防ぐために人員配置の見直しや車の運転などでストレスが生じることへの軽減策、休憩場所の確保等取り組み利用者との馴染みの関係作りを大切にする環境整備に力を注いでいます。また、「ご家族アンケート」の実施で顧客満足度を測定し、改善点を見出したり、認知症サポーター「出前講座」の開催を企画するなどケアサービスのさらなる質の向上への取り組みやホーム機能の地域への還元も実施されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、特に改善点は見出されていません。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ユニット会議や全体会議を通じて、すべての職員が参加して自己評価が実施され評価を活かした取り組みが実践されています。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され意見交換され、運営に反映されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、二ヶ月ごとに定期的実施されています。主な議題はホームの活動報告(敬老会、運動会など)について ご家族アンケートの実施・結果について 認知症サポーター「出前講座」について 事例研究発表(昼夜逆転)について 焼肉パーティー開催について など
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月、グループホーム石狩花川「新イチゴとトマト通信」を発行し、日常生活の様子や敬老会、誕生会などの行事参加の様子を家族に報告しています。また、ご家族アンケートの実施や運営推進会議での意見交換、来訪時に不安な点や意見を表せる機会を設けて、それらを運営に反映させる取り組みが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内の夏祭りや敬老会、コミュニティーセンターでの行事参加など日常生活を通じて地域との交流に努めています。また、介護に関する相談受付や認知症サポーター「出前講座」開催、地元のボランティアの受け入れなど地域と連携した活動にも取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念を作り上げ職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の運営理念をもとに、ホームの理念を作り上げ、理念達成のためのユニット毎の目標を明文化している。		特筆すべき点として、個々の職員の目標が作られ、その達成について評価する取り組みが行われている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の夏祭りや敬老会、コミュニティーセンターでの行事参加など日常生活を通じて地域との交流に努めている。また、介護に関する相談受付や認知症サポーター「出前講座」開催、地元のボランティアの受け入れなど地域と連携した活動にも取り組まれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ユニット会議や全体会議を通じて、すべての職員が参加して自己評価が実施され評価を活かした取り組みが実践されている。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され意見交換され、運営に反映されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、二ヶ月ごとに定期的実施されている。委員は、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、民生委員、包括支援センター職員、石狩市担当者、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>石狩市担当者及び包括支援センター職員とは、運営推進会議での意見交換の他に、日常的に相談、助言が得られるように日頃よりコミュニケーションがとれるように心掛けてサービスの質の向上に活かされるように取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、グループホーム石狩花川「新イチゴとトマト通信」を発行し、日常の生活の様子や敬老会、誕生会などの行事参加の様子を家族に報告している。また、金銭管理は毎月報告し、健康状態変化については都度報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族アンケートの実施や運営推進会議での意見交換、苦情等の法人受付窓口を明確に掲示したり、玄関入り口に意見箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けて、それらを運営に反映させる取り組みが行われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ホーム長は、職員の離職を防ぐために人員配置の見直しや車の運転などでストレスが生じることへの軽減策、休憩場所の確保等取り組み利用者との馴染みの関係作りを大切にす環境整備に力を注いでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症ケア学会や高齢者研究会などの外部研修参加や法人内の事例研究発表会など研修の機会が確保されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の事例研究発表会などで今後同業者の参加など呼びかけて交流を促進させていくことが計画されています。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には本人、家族の見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご家族アンケートを実施して、思いや意向を把握する取り組みや利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握するなど本人と共に支えあう関係構築に努力している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや意向の把握に取り組み入浴のタイミングや食の嗜好の把握、外出や趣味への支援、行事への参加など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的にしている。また、P-D-C-Aサイクルが連動している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、個別の期間毎の評価を随時実施し、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買物、通院への支援が柔軟に行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の協力医の往診や必要な場合に歯科医師の往診など気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について本人・家族の意志が確認され、医師と相談しながら職員間で方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。また、法人内の研修会を通じて職員の共通認識を持つ取り組みを行っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの希望や思いを把握して、散歩や買物、図書館訪問、外食など支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事が楽しみなものになるよう、料理や盛り付け、配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になって行っている。また、職員も一緒に和やかに食事をしている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2～3回を目安に一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴や力を活かしながら散歩や買物、調理の補助や配膳、洗濯、部屋の掃除、テーブル拭きなど支援している。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物、散歩、大根やトマト、かぼちゃなどの野菜の収穫など戸外にでかけられるように支援している。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関は、日中 鍵をかけずに自由に入出入りできるようにしている。また、センサーの設置で安全面で配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、火災避難訓練や自衛消防訓練が定期的実施されている。また、防災備蓄食料も保存され災害対策が行われている。</p>		<p>今後は、緊急時に速やかに対応できるように救急救命訓練の実施を期待します。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士によるメニューが作成され、献立表にカロリーが表示されている。また、具体的な食事や水分の摂取量など個々に応じた対応がされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや音の大きさや光の強さは感じられない。敷地内は広く、駐車場や畑など作られていて、利用者の楽しみごととなっている。また、広いリビングには、観葉植物が飾られたり、利用者が集い談笑などして家庭的雰囲気を感じられベランダからは、近隣の風景や山々が望め季節感が感じられ開放感がある。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族の写真や仏壇、冷蔵庫やテレビ、観葉植物が飾られ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。